

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			はりきゅう理論Ⅰ	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名			仲條 佐登美	講義形式	講義
学習目標と講義概要			鍼灸医学の成り立ちについて古代から現在に至るまでの歴史を学ぶ。鍼灸の理論や技術について理解を深め、「鍼灸術とは何か」という定義からはじまり、臨床で用いる器具、技術、衛生処置など鍼灸の基礎知識を学ぶ。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	鍼の基礎知識		
2	1	2	鍼灸の歴史①		
3	1	2	鍼灸の歴史②		
4	1	2	刺鍼の方式と術式①		
5	1	2	刺鍼の方式と術式②		
6	1	2	特殊鍼法①		
7	1	2	灸の基礎		
8	1	2	灸の種類		
9	1	2	鍼灸の臨床応用①		
10	1	2	鍼灸の臨床応用②		
11	1	2	リスク管理①		
12	1	2	リスク管理②		
13	1	2	リスク管理③		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
新版 経絡経穴概論:医道の日本社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			東洋医学概論Ⅲ	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名			北村 恵美子	講義形式	講義
学習目標と講義概要			・東洋医学的な診断技術の基礎知識を学ぶ。 ・東洋医学的な診断方法を身につける。 ・女性にみられる心身の問題について、東洋医学的な考え方を学ぶ。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	ガイダンス, 四診の概要, 臓(臓腑)と五華・五体・五官, 経絡の関係について復習 四診1:望診① :神, 色, 形, 態		
2	1	2	四診1:望診② :舌診:正常な舌, 異常な舌質・舌苔 四診2:聞診 :声, 呼吸, 発語, 異常音, 気味		
3	1	2	四診3:問診① :主訴, 基本的問診事項(寒熱, 飲食, 睡眠, 二便, 情志, 生活環境) 四診3:問診② :身体各部の症状・汗・疼痛・女性の問診事項		
4	1	2	四診4:切診① :皮膚に現れる反応, 経脈診, 経穴診		
5	1	2	四診4:切診② :腹診:平人無病の腹, 難経系腹診, 傷寒論系腹診		
6	1	2	四診4:切診③ :脈診:寸口診, 脈状診, 六部定位比較脈診, 脈位脈状診		
7	1	2	弁証論治1:弁証方法① :八綱弁証, 気血津液弁証		
8	1	2	弁証論治1:弁証方法② :臓腑弁証, 経絡弁証		
9	1	2	弁証論治1:弁証方法③ :六淫弁証, 六経弁証, 衛気営血弁証, 三焦弁証, 標本・主客		
10	1	2	弁証論治2:論治 :治則, 治法, 治療法概要		
11	1	2	弁証論治3:弁証の進め方		
12	1	2	女性に対する東洋医学的アプローチ1:		
13	1	2	女性に対する東洋医学的アプローチ2:		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
新版東洋医学概論:医道の日本社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			生体観察	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名			駒木 伸一郎	講義形式	講義
学習目標と講義概要			生体構造を臨床の視点から捉えられる知識を身に付けることを目的とする。 臨床現場で応用可能な局所構造の理解を深め、それらについて論じられるようにする。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	体幹の筋と局所解剖1		
2	1	2	体幹の筋と局所解剖2		
3	1	2	体幹の筋と局所解剖3		
4	1	2	上肢の筋と局所解剖1		
5	1	2	上肢の筋と局所解剖2		
6	1	2	上肢の筋と局所解剖3		
7	1	2	上肢の運動		
8	1	2	下肢の筋と局所解剖1		
9	1	2	下肢の筋と局所解剖2		
10	1	2	下肢の筋と局所解剖3		
11	1	2	下肢の運動		
12	1	2	頭頸部の筋と局所解剖1		
13	1	2	頭頸部の筋と局所解剖2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
解剖学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			東洋医学臨床Ⅰ	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名			市川 隼	講義形式	講義
学習目標と講義概要			頭頸部にみられる疾病や症状に対し、現代医学と東洋医学の両面から病態把握や治療法を学習する。現代医学的考え方では、適切な病態把握をしたうえで鍼灸治療の適否を判断できるようにし適応疾患に対しての治療法を学習する。東洋医学的考え方では、気血津液病証や臓腑病証などをもとに弁証に基づく治療法を学習する。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	治療総論		
2	1	2	頭痛・眼精疲労①		
3	1	2	頭痛・眼精疲労②		
4	1	2	顔面痛・顔面麻痺①		
5	1	2	顔面痛・顔面麻痺②		
6	1	2	歯痛①		
7	1	2	歯痛②		
8	1	2	鼻閉・鼻汁①		
9	1	2	鼻閉・鼻汁②		
10	1	2	脱毛症①		
11	1	2	脱毛症②		
12	1	2	めまい・耳鳴り・難聴①		
13	1	2	めまい・耳鳴り・難聴②		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
新版東洋医学臨床論(はりきゅう編):南江堂					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			東洋医学臨床Ⅱ	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名			加瀬 静馬	講義形式	講義
学習目標と講義概要			体幹部にみられる疾患や症状に対し、現代医学と東洋医学の両面から病態把握や治療法を学習する。現代医学的考え方では、適切な病態把握をしたうえで鍼灸治療の適否を判断できるようにし適応疾患に対しての治療法を学習する。東洋医学的考え方では、気血津液病証や臓腑病証などをもとに弁証に基づく治療法を学習する。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	咳嗽・喘息①		
2	1	2	咳嗽・喘息②		
3	1	2	胸痛①		
4	1	2	胸痛②		
5	1	2	腹痛①		
6	1	2	腹痛②		
7	1	2	悪心・嘔吐①		
8	1	2	悪心・嘔吐②		
9	1	2	月経異常①		
10	1	2	月経異常②		
11	1	2	月経異常③		
12	1	2	排尿障害・インポテンツ①		
13	1	2	排尿障害・インポテンツ②		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法 1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書 新版東洋医学臨床論(はりきゅう編):南江堂					
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			東洋医学臨床Ⅲ	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名			市川 隼	講義形式	講義
学習目標と講義概要			全身症状がみられる疾病、小児や高齢者特有の疾患に対し、現代医学と東洋医学の両面から病態把握や治療法を学習する。現代医学的考え方では、適切な病態把握をしたうえで鍼灸治療の適否を判断できるようにし適応疾患に対しての治療法を学習する。東洋医学的考え方では、気血津液病証や臓腑病証などをもとに弁証に基づく治療法を学習する。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	高血圧症・低血圧症①		
2	1	2	高血圧症・低血圧症②		
3	1	2	食欲不振・肥満①		
4	1	2	食欲不振・肥満②		
5	1	2	発熱、のぼせと冷え①		
6	1	2	発熱、のぼせと冷え②		
7	1	2	不眠①		
8	1	2	不眠②		
9	1	2	疲労と倦怠①		
10	1	2	疲労と倦怠②		
11	1	2	発疹①		
12	1	2	発疹②		
13	1	2	小児の疾患・老年医学における鍼灸治療		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
新版東洋医学臨床論(はりきゅう編):南江堂					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			東洋医学臨床Ⅳ	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名			仲條 佐登美	講義形式	講義
学習目標と講義概要			運動器疾患に対し、現代医学と東洋医学の両面から病態把握や治療法を学習する。現代医学的考え方では、適切な病態把握をしたうえで鍼灸治療の適否を判断できるようにし適応疾患に対しての治療法を学習する。東洋医学的考え方では、気血津液病証や臓腑病証などをもとに弁証に基づく治療法を学習する。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	肩こり・頸肩腕痛①		
2	1	2	肩関節痛・上肢痛②		
3	1	2	肩関節痛・上肢痛①		
4	1	2	肩関節痛・上肢痛②		
5	1	2	腰下肢痛①		
6	1	2	腰下肢痛②		
7	1	2	膝痛①		
8	1	2	膝痛②		
9	1	2	運動麻痺①		
10	1	2	運動麻痺②		
11	1	2	スポーツ医学における鍼灸治療①		
12	1	2	スポーツ医学における鍼灸治療②		
13	1	2	スポーツ医学における鍼灸治療③		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
新版東洋医学臨床論(はりきゅう編):南江堂					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			応用実技Ⅰ	履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	鍼灸実技室
教員名			市川 隼	講義形式	実技
学習目標と講義概要			気血津液病証、臓腑病証に対して、治療を実技で行い鍼灸技術の向上を目指すとともに、臨床に役立てるように学習していく。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	ガイダンス		
2	1	2	手の太陰肺経		
3	1	2	手の陽明大腸経		
4	1	2	足の陽明胃経		
5	1	2	足の太陰脾経		
6	1	2	手の少陰心経		
7	1	2	手の太陽小腸経		
8	1	2	足の太陽膀胱経		
9	1	2	足の少陰腎経		
10	1	2	手の厥陰心包経		
11	1	2	手の少陽三焦経		
12	1	2	足の少陽胆経		
13	1	2	足の厥陰肝経		
14	1	2	気血津液病証①		
15	1	2	気血津液病証①		
16	1	2	臓腑病証①		
17	1	2	臓腑病証②		
18	1	2	難行六十九難		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	解説，フィードバック		
合 計					
20	20	40			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編を使用する場合が有る。					
教員について【実務経験有】					
担当両教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			応用実技Ⅱ	履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	鍼灸実技室
教員名			仲條 佐登美	講義形式	実技
学習目標と講義概要			現代医学的考え方と東洋医学的考え方の両面で病態を把握し、病態および証に基づく選穴、正確でスムーズな取穴、安全で効果的な刺激、心地良い施灸の技術の向上を目指し、臨床家としての能力向上を目的とする。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	疼痛に対する鍼灸治療1		
2	1	2	疼痛に対する鍼灸治療2		
3	1	2	疼痛に対する鍼灸治療3		
4	1	2	疼痛に対する鍼灸治療4		
5	1	2	疼痛に対する鍼灸治療5		
6	1	2	疼痛に対する鍼灸治療6		
7	1	2	疼痛に対する鍼灸治療7		
8	1	2	疼痛に対する鍼灸治療8		
9	1	2	疼痛に対する鍼灸治療9		
10	1	2	疼痛に対する鍼灸治療10		
11	1	2	疼痛に対する鍼灸治療11		
12	1	2	疼痛に対する鍼灸治療12		
13	1	2	疼痛に対する鍼灸治療13		
14	1	2	疼痛に対する鍼灸治療14		
15	1	2	疼痛に対する鍼灸治療15		
16	1	2	疼痛に対する鍼灸治療16		
17	1	2	疼痛に対する鍼灸治療の要点1		
18	1	2	疼痛に対する鍼灸治療の要点2		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	フィードバック		
合 計					
20	20	40			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編を使用する場合が有る。					
教員について【実務経験有】					
担当両教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			応用実技Ⅲ	履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	鍼灸実技室
教員名			仲條佐登美	講義形式	実技
学習目標と講義概要			鍼灸臨床で頻繁に遭遇する整形外科の疾患・症状について、適切な病態把握が導けるように診察技法を学ぶ。 現代医学的診察技法では、レッドフラッグを除外し、病態局所の鑑別のための各種理学検査を身につける。東洋医学的診察技法では、標準的な四診技法を身につける。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	現代医学的診察技法1		
2	1	2	現代医学的診察技法2		
3	1	2	現代医学的診察技法3		
4	1	2	現代医学的診察技法4		
5	1	2	現代医学的診察技法5		
6	1	2	現代医学的診察技法6		
7	1	2	現代医学的診察技法7		
8	1	2	現代医学的診察技法8		
9	1	2	現代医学的診察技法9		
10	1	2	現代医学的診察技法10		
11	1	2	東洋医学的診察技法1		
12	1	2	東洋医学的診察技法2		
13	1	2	東洋医学的診察技法3		
14	1	2	東洋医学的診察技法4		
15	1	2	東洋医学的診察技法5		
16	1	2	東洋医学的診察技法6		
17	1	2	現代医学的診察技法の要点		
18	1	2	東洋医学的診察技法の要点		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	フィードバック		
合 計					
20	20	40			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編を使用する場合が有る。					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			応用実技Ⅳ	履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	鍼灸実技室
教員名			加瀬 静馬	講義形式	実技
学習目標と講義概要			鍼通電療法の基礎知識および応用知識を身につけることを目的とする。また、スポーツ分野で求められる、鍼灸の基礎知識および応用知識を身につけ、スポーツトレーナーとしての知識や技術の理解を深める。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	ガイダンス，触診，鍼通電療法の確認		
2	1	2	スポーツ鍼灸の確認		
3	1	2	下肢の鍼通電療法①		
4	1	2	下肢の鍼通電療法②		
5	1	2	下肢の鍼通電療法③		
6	1	2	下肢の鍼通電療法④		
7	1	2	下肢の鍼通電療法⑤		
8	1	2	上肢の鍼通電療法①		
9	1	2	上肢の鍼通電療法②		
10	1	2	上肢の鍼通電療法③		
11	1	2	上肢の鍼通電療法④		
12	1	2	上肢の鍼通電療法⑤		
13	1	2	各種スポーツ・疾患鑑別鍼灸①		
14	1	2	各種スポーツ・疾患鑑別鍼灸②		
15	1	2	各種スポーツ・疾患鑑別鍼灸③		
16	1	2	総合演習 1		
17	1	2	総合演習 2		
18	1	2	まとめ，試験練習		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	解説，フィードバック		
合 計					
20	20	40			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編を使用する場合が有る。					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			応用実技Ⅴ	履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	鍼灸実技室
教員名			北村 恵美子	講義形式	実技
学習目標と講義概要			・女性特有,あるいは女性に多い心身の問題に対する鍼灸アプローチについて学ぶ。 ・近年注目される不妊や美容,更年期障害について,基本的な知識を身につけるとともに,東洋医学的および現代医学的な考え方に基づく,基本的な鍼灸治療が実践できるようになる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	ガイダンス, 基本的な鍼灸技術の確認(ディスポーザブル鍼での下腿刺鍼, 顔面鍼, 透熱灸など)		
2	1	2	冷え症, 冷えに対する鍼灸		
3	1	2	のぼせに対する鍼灸		
4	1	2	心理的症状に対する鍼灸(イライラ, 不安, 不眠など)		
5	1	2	排尿トラブルに対する鍼灸(頻尿など)		
6	1	2	月経トラブルに対する鍼灸1(PMS, 月経前困難症, 月経異常など)		
7	1	2	月経トラブルに対する鍼灸2		
8	1	2	不妊に対する鍼灸1		
9	1	2	不妊に対する鍼灸2		
10	1	2	妊娠女性に対する鍼灸1(骨盤位, つわり, 腰痛など)		
11	1	2	妊娠女性に対する鍼灸2		
12	1	2	出産女性に対する鍼灸1(乳汁分泌不全, 体力回復, 腰痛など)		
13	1	2	出産女性に対する鍼灸2		
14	1	2	美容と鍼灸1		
15	1	2	美容と鍼灸2		
16	1	2	美容と鍼灸3		
17	1	2	まとめ		
18	1	2	まとめ		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	解説, フィードバック		
合 計					
20	20	40			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編を使用する場合が有る。					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			応用実技Ⅵ	履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	鍼灸実技室
教員名			仲條 佐登美	講義形式	実技
学習目標と講義概要			鍼灸臨床で頻繁に遭遇する整形外科的疾患・症状について、適切な病態把握が導けるように診察技法を学ぶ。 レッドフラッグを除外し、病態局所の鑑別のための各種理学検査を身につける		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	整形外科的理学検査1		
2	1	2	整形外科的理学検査2		
3	1	2	整形外科的理学検査3		
4	1	2	整形外科的理学検査4		
5	1	2	整形外科的理学検査5		
6	1	2	整形外科的理学検査6		
7	1	2	整形外科的理学検査7		
8	1	2	整形外科的理学検査8		
9	1	2	整形外科的理学検査9		
10	1	2	整形外科的理学検査10		
11	1	2	症例トレーニング1		
12	1	2	症例トレーニング2		
13	1	2	症例トレーニング3		
14	1	2	症例トレーニング4		
15	1	2	症例トレーニング5		
16	1	2	症例トレーニング6		
17	1	2	整形外科的理学検査の要点1		
18	1	2	整形外科的理学検査の要点2		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	フィードバック		
合 計					
20	20	40			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編を使用する場合が有る。					
教員について【実務経験有】					
担当全教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			臨床実習Ⅱ	履修単位/時間	1単位/45時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	臨床実習室
教員名			大野 政明、仲條 佐登美、市川 隼、野澤 かおり、加瀬 静馬、川浦 渉太	講義形式	実習
学習目標と講義概要			鍼灸臨床で遭遇する疼痛性疾患やその他疾患にもとづく症状について、実際の臨床現場を想定し、医療面接および身体診察を行い、レッドフラッグや病態局所の鑑別を行い、病態把握が導けるようになる。臨床家として適切な姿勢やコミュニケーションについても学び、模擬患者に実践できるようになる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	臨床家としての姿勢, プロフェッショナリズム1		
2	1	2	臨床家としての姿勢, プロフェッショナリズム2		
3	1	2	医療面接1		
4	1	2	医療面接2		
5	1	2	医療面接3		
6	1	2	医療面接4		
7	1	2	医療面接5		
8	1	2	医療面接の要点		
9	1	2	医療面接から身体診察への流れ1		
10	1	2	医療面接から身体診察への流れ2		
11	1	2	身体診察1		
12	1	2	身体診察2		
13	1	2	身体診察3		
14	1	2	身体診察4		
15	1	2	身体診察5		
16	1	2	身体診察6		
17	1	2	身体診察7		
18	1	2	身体診察の要点		
19	1	2	医療面接から身体診察への流れ3		
20	1	2	医療面接から身体診察への流れ4		
21	1	2	医療面接から身体診察への流れ5		
22	1	2	単位認定試験		
23	0.5	1	フィードバック		
合 計					
23	22.5	45			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
講師作成資料					
教員について【実務経験有】					
担当の全教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			臨床実習Ⅲ	履修単位/時間	1単位/45時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	臨床実習室
教員名			大野 政明、仲條 佐登美、市川 隼、野澤 かおり、加瀬 静馬、川浦 渉太	講義形式	実習
学習目標と講義概要			鍼灸臨床で遭遇する疼痛性疾患やその他疾患にもとづく症状について、実際の臨床現場を想定し、病態把握から治療方針、治療計画・評価計画などを展開できるようになる。臨床家として適切な姿勢やコミュニケーションについても学び、模擬患者に実践できるようになる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	医療面接から身体診察への流れ6		
2	1	2	医療面接から身体診察への流れ7		
3	1	2	症例検討1:情報の整理から治療計画・評価計画まで		
4	1	2	症例検討2:情報の整理から治療計画・評価計画まで		
5	1	2	症例検討3:情報の整理から治療計画・評価計画まで		
6	1	2	症例検討4:情報の整理から治療計画・評価計画まで		
7	1	2	症例検討5:情報の整理から治療計画・評価計画まで		
8	1	2	症例検討6:情報の整理から治療計画・評価計画まで		
9	1	2	症例検討7:情報の整理から治療計画・評価計画まで		
10	1	2	症例検討8:情報の整理から治療計画・評価計画まで		
11	1	2	症例検討9:情報の整理から治療計画・評価計画まで		
12	1	2	症例検討10:情報の整理から治療計画・評価計画まで		
13	1	2	インフォームドコンセント1		
14	1	2	インフォームドコンセント2		
15	1	2	模擬治療1:医療面接から評価まで		
16	1	2	模擬治療2:医療面接から評価まで		
17	1	2	模擬治療3:医療面接から評価まで		
18	1	2	模擬治療4:医療面接から評価まで		
19	1	2	模擬治療5:医療面接から評価まで		
20	1	2	模擬治療6:医療面接から評価まで		
21	1	2	模擬治療7:医療面接から評価まで		
22	1	2	単位認定試験		
23	0.5	1	フィードバック		
合 計					
23	22.5	45			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
講師作成資料					
教員について【実務経験有】					
担当の全教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			総合領域Ⅱ	履修単位/時間	5単位/150時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名			大野 政明、仲條 佐登美、市川 隼、野澤 かおり、加瀬 静馬、川浦 渉太	講義形式	講義
学習目標と講義概要			本次まで学んだはり師・きゅう師に必要な臨床的知識を総合的に修得し、適正な判断のもと現代医学的または伝統医学的な方法をもって患者に不利益を生じさせない施術を行える知識を獲得する。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1～5	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用1（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
6～10	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用2（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
11～15	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用3（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
16～20	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用4（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
21～25	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用5（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
26～30	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用6（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
31～35	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用7（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
36～40	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用8（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
41～45	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用9（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
46～50	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用10（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
51～55	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用11（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
56～60	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用12（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）		
61～65	5	10	はり師・きゅう師における伝統医学の応用1（2年次で学んだ東洋医学の知識を再構築する）		
66～70	5	10	はり師・きゅう師における伝統医学の応用2（2年次で学んだ東洋医学の知識を再構築する）		
71～73	3	6	はり師・きゅう師における伝統医学の応用3（2年次で学んだ東洋医学の知識を再構築する）		
74	1	2	単位認定試験		
75	1	2	解答解説		
合 計					
60	75	150			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
生理学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版社 病理学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版 はりきゅう理論 東洋療法学校協会編：医道の日本社 臨床医学総論 東洋医療学校協会編：医歯薬出版 臨床医学各論 東洋療法学校協会編：医歯薬出版 東洋医学概論 東洋療法学校協会編：医道の日本社 経絡経穴概論 東洋療法学校協会編：医道の日本社					
教員について【実務経験有】					
担当の全教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					